

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成２８年度 第１回 栃木東部地域会議
開催日時	平成２８年４月２７日 開会１９時００分 閉会２０時２５分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	五十嵐 記代子、荻島 哲、柏崎 桂二、柏崎 章吉、 神田 誠司、神戸 透、島田 秀夫、竹澤 克元
欠席委員氏名	大橋 哲夫、大山 恵久、倉持 好則、藤本 紀子、谷中 俊太郎
事務局職員職氏名	総合政策部長 早乙女 洋、地域づくり推進課長 大橋 嘉孝、 地域づくり推進課長補佐 清水 孝之 栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 出井 正一、 大宮公民館長 伏木 広安、国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	教育総務課長 天海 俊充
会議事項	・栃木市立小中学校適正配置基本方針について（報告） ・栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）について（情報提供） ・平成２８年度地域予算提案について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	０人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者・議題・発言内容・決定事項	
１ 開会	出井 所長
２ あいさつ	柏崎 会長
３ 議事	
会 長	・本日の出席委員数について、事務局から報告願う。
事務局	・本日の出席委員は８名である。なお、後藤委員、田中委員、千葉委員からは３月末日で辞職願が出されており、各団体に後任の推薦を依頼しているところである。また、大橋委員、大山委員、倉持委員からは所用のため欠席との連絡をいただいていることを報告する。
会 長	・全委員の過半数の出席であるため、本日の会議は成立している。
（１）栃木市立小中学校適正配置基本方針について（報告）	
会 長	・事務局から説明願う。
担当課	・（資料「栃木市立小中学校適正配置基本方針」に基づいて説明）
会 長	・何かご意見・ご質問があればお願いしたい。
委 員	・適正規模の実現をスピードアップして欲しい。小規模特認校の児童数が増える要素がない。小中一貫教育が他の地域で良い成果が出ていることが報道されているので、

同時並行に考えて欲しい。

委員 ・私は国府南小出身なので、その小学校が無くなるのは寂しい。児童数の多い国府北小との区分を見直せないか。

委員 ・地域で解決できるものは地域で、という考え方が望ましい。最低でも1学年で2クラスという適正の尺度ができてしまっているが、1学年で1クラスでもよいのではないか。統合の希望が少ない場合、課題は解決できるのか、懸念される。小中一貫や中高一貫が注目されているが、同じ学校に6年もいるのがよいことなのか。市内のある塾には県外からも子どもが通っており、教育の広域化が進んでいるが、地元で育める方法を探るのがよいと思う。小中学校の義務教育で足りないものを高校や大学が要求し過ぎている。栃木県の難しい試験を受けてまで先生になりたくないと思う人が増えている。塾の先生の方が給料がよいという現実がある。特認校という制度だけでよいのか、東部地域の両南校（大宮南小・国府南小）のことを適正規模も含めて地元で話し合っただけで欲しい。特認校から大きい中学校に入った場合、子どもの不登校について担任も過敏になっている。

委員 ・親の所得格差が児童・生徒の教育格差になっている。教育を補充できる体制を作っただけで欲しい。

委員 ・資料8ページの30年度に行う学区審議会による「評価」はどのような方法を想定しているか。

担当課 ・今から3年間は特認校として安定した運営をしていただく。学区審議会はまだ白紙状態である。ご了承いただきたい。

委員 ・資料11ページでは、今日の地域会議が（1）のことでよいか。

担当課 ・そのとおり。

委員 ・学校再編は、スクールバスの導入も含めて子どものことを考えて欲しい。市の予算で先生を補充し、特に中学の先生の専門性を確保しているのはよいことだ。子どもの学力が下がるようなことは避けなければならない。小山市が小中一貫校へ向かう動きがある。高校に入る学力をつけるためのようだ。学区上、近い学校に行かず、遠くへ行く問題がある。ただ、保護者としては子どもや孫には自分が出た学校に通って欲しいという思いもある。しかし、長い通学中に事故が起きたら誰が責任を取るのかということにもなりかねない。また、東陽中は4つの小学校からの子どもと一緒に過ごしているが、学校での生徒の生活の様子が保護者には十分に知らされていない。できる範囲で明らかにすれば、保護者も安心できるのではないか。先生方や経験者から今までの実例を教えてください。そのような啓蒙活動も必要だ。

担当課 ・開かれた学校を謳いながら、まだまだ地域に情報が伝わっていない現状がある。これは改善点の1つである。意識調査のアンケートは学校の先生にも現状を書いてもらう。できるだけ多くの方からの意見をいただき反映していきたい。

（2）栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）について（情報提供）

会長 ・事務局から説明願う。

事務局 ・都市計画課からの冊子を配付した。このマスタープランは平成26年3月に作成したが、合併により岩舟地域が加わったこととともに総合計画との整合を図った。質問などは都市計画課へお願いしたい。

- 会 長 ・ 皆さんからご意見・ご質問があればお願いしたい。
- 委 員 ・ 栃木市全体の地図を見ると、改めてその広さに驚く。
- 委 員 ・ 現実的に困っていることがある。平柳のバイパスの五差路の渋滞が酷い。2、3回信号待ちになることもある。近隣住民が車で家からすぐに出られない。そういう事態になる計画を誰が作ったのか。
- 委 員 ・ 3月の大光寺橋の開通に関して栃木土木事務所の説明会に出席した。平柳の五差路は今後さらに南に抜けて、大光寺橋から西に向かう道と税務署の北辺りでつながる計画のようだ。そのつながる部分の東の道が今年の9月か10月に用地買収と設計が始まる。道幅15メートル、側道の幅は5メートル、記念樹を植える予定で、桜の案があるが地元では毛虫や落葉などの管理上の異論がある。
- 委 員 ・ 泉寿園の北側を抜けるのか。
- 委 員 ・ 今泉神社の前辺りだ。
- 委 員 ・ 大宮運動広場の北側辺りも通って、いまいずみ保育園の南側を立体にして、栃木公民館のところまで計画があるようだ。
- 委 員 ・ その道路は何年後くらいに完成するのか。
- 委 員 ・ これらの新しい道路が繋がらないと、平柳の渋滞が続いて困る。

(3) 平成28年度地域予算提案について

- 会 長 ・ 事務局から説明願う。
- 事務局 ・ (資料3ページと「平成28年度地域予算提案について」に基づき説明)
- 会 長 ・ 何かご意見・ご質問があればお願いしたい。
- 委 員 ・ 私の記憶では、今年度は大塚運動広場に休憩所を作るものと思っていたが、そうではないのか。
- 委 員 ・ 国庁まつりは雨天中止のイベントだが、小降りなら続けられるようなテントがあるとよい。
- 委 員 ・ 大塚運動広場に休憩スペースができると体協役員に話してしまった。国庁跡の整備も必要で、今より5倍・10倍大きい看板で目立つようにした方がよい。自販機を置いて子どもの遊び場もあるとよい。
- 委 員 ・ 案内看板はバイパスの国府公民館のところにもあるとよい。
- 委 員 ・ 国庁まつりの舞台の整備は、案の案の段階だが、大塚運動広場は下水道が通った時に水洗トイレを作ってくれるという約束なので、その時に合わせて整備することにしたい。
- 委 員 ・ 大塚運動広場にある休憩スペースはビニールハウスのような簡易なものだけなので、丈夫なものが欲しいが、国庁跡の整備を優先すべきだと思う。
- 委 員 ・ 国庁まつりの時に、市長がステージの先がでこぼだと言っていたので、市の予算で何とかして欲しいとお願いした。力を入れてくれると思う。
- 委 員 ・ 国庁跡の整備は、市全体の予算でできないか。
- 事務局 ・ 地域の強い要望があれば実現することもあるかも知れないが、所管課ではないので明言できず申し訳ない。
- 委 員 ・ そういう意見が出たことは担当に伝えていただきたい。
- 委 員 ・ 今日、郷土同好会で国分寺、尼寺、薬師寺、国庁跡を巡った。あまりにも下野市と

栃木市の手入れの仕方が全然違う。今後、文化課で各地域の文化資産を調査する。
国庁跡の整備に市の予算をかけて欲しい。

委 員 ・国庁跡と薬師寺をつなぐ道路が、必ずつながっているはずだが見つからない。

(4) その他

会 長 ・事務局から説明願う。

事務局 ・まちづくり実働組織については本日の議題にしなかったが、各地区のまちづくり協
議会の総会などで、まちづくり実働組織について話し合っていると有り難い。

4 その他

事務局 ・次回会議は5月25日(水)19時から国府公民館で開催する。

以 上